

098

contents

雪舟への旅展予告
雪舟への旅展イベント
第59回山口県美術展覧会
年間スケジュール

天花
TENGE
花



平成18年度 特別展 「雪舟への旅展」予告

表紙作品解説

雪舟等楊 (1420-1506?) 「山水長巻」 1486年
紙本墨画淡彩 39.8×1580.2cm 毛利博物館蔵

表紙に掲載された写真は、雪舟筆「山水長巻」の一部。毛利家に伝わる宝として、江戸時代以来、雪舟の作品の中でももっとも有名なものです。全長約16メートルにわたる長大な画卷(巻物)に、春夏秋冬の四季の山水(風景)が描かれています。山水を描く巻物は、水墨画の本場中国では時代に関わらずさかんに作られましたが、中国から水墨画を学んだ日本の画家たちが、こうした山水画卷を描くことは稀でした。室町時代の将軍や大名たちはむしろ、中国の有名な画家が描いた山水画卷を中国から取り寄せて鑑賞していたのです。

この画卷が作られるほぼ二十年前の、応仁元年(1467)からの足かけ三年間、雪舟は足利幕府が明(当時の中国の国号)に派遣した使節団に同行して中国を旅しました。雪舟がこのような、日本人の画家によってはあまり作られることのなかった山水画卷を制作したこと背景には、自ら入門して本場の水墨画のあり方を学んだという体験が大きかったでしょう。

絵の描き方についても、中国に旅したことは雪舟に大きな影響を与えました。当時の中国では、日本の水墨画家たちの大人しく繊細な画風に比べて、はるかに荒っぽい、大胆な画風が流行していたのです。本場中国での流行を目の当たりにした雪舟の帰国後の画風は、それ以前の絵に比べてかなり荒っぽくなります。雪舟自身が、「もっと荒っぽく、グジャグジャとした感じにしまきゃ」と思っていたんじゃないでしょうか。「山水長巻」は、こうした雪舟壮年期の「荒っぽさ強調時代」の画風を代表するものです。この画卷は大内政弘公(当時の君主ですね)に献上するために描かれたものと考えられていて、雪舟自身にとってもずいぶん気の張る、力の入った仕事だったでしょう。そんな晴れ舞台で、雪舟はここぞとばかりに思いっきり暴れました。線の一本一本にこもった、雪舟100%の気合いが感じられる。そんなところがこの絵の醍醐味だと思います。

来年の秋には、毛利博物館からこの山水長巻をお借りし、また日本全国から雪舟の選りすぐりの絵を集めた大展覧会を山口県立美術館で開催する予定です。そのプレ・イベントとして、鑑賞教育のカリスマ、アメリカ・アレナス氏による、雪舟を題材にとり入れたワーク・ショップと、毛利博物館で一足先に「山水長巻」をじっくり見てみましょう、という企画を準備しました。ぜひお楽しみに。

(当館学芸員 荏開津通彦)

展覧会予告

名称:雪舟への旅(仮称)
会期:国民文化祭の期間(11月3日~12日)を含む約一ヶ月間
出品作品:国宝6点を含む雪舟の作品60点ほど(予定)
主催:山口県立美術館・NHK山口放送局・読売新聞社・KRY山口放送(予定)

「雪舟への旅」展 プレイベント!

来年まで待ちきれないあなたのために、魅力的なプレイベントをお贈りします。



めくるめく鑑賞を体験したいあなたへ!

アメリカ・アレナス ワークショップ

ニューヨーク近代美術館(MOMA)勤務時代にVisual Thinking Curriculum(視覚をもちいて考えるカリキュラム)の開発に携わり、鑑賞とギャラリートークに革命をもたらしたアメリカ・アレナスさんをニューヨークからお招きします。雪舟を取り上げたVTCはどのように展開するのでしょうか!?それは参加するあなた次第です!

日時:2005年11月3日(木・祝)

場所:山口情報芸術センター(YCAM)スタジオA

一般コース 10:30~12:30 「アートと鑑賞者」 対象:一般・150名

指導コース 10:30~12:30 「アートと鑑賞者」(一般コースと合同)

14:00~18:00 「VTCの方法と効果~子どもと鑑賞」

対象:教員・学芸員・50名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法:住所・氏名・職業(指導コースの方は学校名・館名)・電話番号・ご希望のコースを明記の上、往復はがき・FAX・メールのいずれかで下記までお申し込みください。

10月10日(月)締切。受講無料。

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館普及課

Fax: 083-925-7784 E-mail: a50702@pref.yamaguchi.lg.jp

一足先に生雪舟を楽しみたいあなたへ!

お披露目記念レクチャー:山水長巻を見よう!

大修理を終えて、四年振りに雪舟の国宝・山水長巻が毛利博物館の「国宝展」で公開されます。雪舟研究会では、毛利博物館との協力のもと、「山水長巻お披露目記念レクチャー」を開催いたします。島尾新氏(多摩美術大学教授)、山下裕二氏(明治学院大学教授)などの日本を代表する雪舟研究者による、山水長巻の見所の解説を毛利博物館の大広間で聞き、その後展示室で雪舟畢生の大作・山水長巻を心ゆくまでご覧いただけます。

日時:2005年11月13日(日)

場所:毛利博物館大広間

第1回 11:00~ / 第2回 13:00~ / 第3回 15:00~

定員:各回60名(先着順)

申込方法:住所・氏名・電話番号・ご希望の回を明記して、往復はがきにて下記までお申し込みください。先着順で、各回とも定員に達し次第締め切らせていただきます。

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館内「山水長巻を見よう!」係

*毛利博物館「国宝展」観覧券が必要です。

*都合により解説者は変更することがあります。

*ご記入いただいた個人情報は「雪舟への旅」展、美術館学校連携推進事業に関する業務以外には使用しません。

下関市立美術館外観
下関市立美術館外観



第59回 山口県

美術展覧会

「つくる・みる・ささえる」の
創造的調和

制作の創造性を高める(つくる)と同時に、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるように、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

会場

下関市立美術館

〒752-0986 下関市長府黒門東1-1 tel:0832-45-4131

会期

平成17年9月22日(木)▶10月12日(水)

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日/9月26日・10月3日

●観覧料/一般 250(200)円 大学生 200(150)円

※()内は20人以上の団体料金

※70歳以上および18歳以下の方、中等教育学校、高等学校、盲ろう・養護学校在学生の方等は無料です。

●主催/山口県・山口県教育委員会・下関市・下関市教育委員会



自由な意識や現代社会に
根ざした作品を募集し、
その優秀なものを展示します。

審査会 平成17年9月13日(火)・9月14日(水)

審査員 榎本徹(岐阜県現代陶芸美術館館長)

岡部あおみ(美術評論家・武蔵野美術大学教授)

元永定正(美術作家・成安造形大学客員教授)



審査会風景

出品点数 432点

入選点数 130点

大賞 「支える」花田博通(下関市)

優秀賞 「めーる」小泉桂子(大阪府)

(50音順)

「コラージュ 祈り」鳥本雅代(下関市)

「毎日のオブジェ」末田浩一(光市)

「曲線」村岡典子(岩国市)

「TRAVEL 05-1」山下哲郎(周防大島町)

特別展示 「人間 風景～上関から下関～」 針間文彦(昨年度大賞受賞者)

みる

(ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を
体験してもらうための
ワークショップを開催します。

ワークショップ 「アートはタイヘン!? どろんこアートで遊ぼう!」

手や足で泥をこねるあの感触を、すっかり忘れていませんか?泥
絵画や泥インスタレーションなど、泥を使いたいいろいろな表現を親
子で楽しみ、作品を見る楽しさを体験しましょう

9月24日(土)/25日(日)午後1時-4時

会場 下関市立美術館造形室

対象 子供(5歳~小学校6年生)とその保護者

定員 各日とも 子供30人+保護者(要申し込み・先着順)

申込方法 参加希望日・参加者の氏名・年齢・住所・電話番号を記
入した、往復はがき、ファックスまたはe-mailでお申し
込み下さい。

宛先 〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館
「県美展ワークショップ係」

fax:083-925-7790

e-mail:a50702@pref.yamaguchi.lg.jp

問い合わせ先 山口県立美術館

tel:083-925-7788



昨年のワークショップ

※申し込みの際に記入いただいた個人情報は、第59回山口県美術展覧会
ワークショップに関する業務以外には使用しません。

ささえる

(ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館
ボランティアスタッフに
県美展の運営に
参画してもらい、芸術支援の
活動を展開してもらいます。

県美展ポスター原画公募

美術館ボランティア3期生が、61点の
応募作品の中から1点を選びました。



今年度のポスター原画

「みんなが自由に審査員」

来館者の方々に県美展展示作品に対してユニークな賞を考えてもらい、
その作品の魅力を他の来館者のみなさんに伝えてもらいます。県美
展会期中、会場内で実施します。

第59回山口県美術展覧会運営委員(50音順)

荒瀬 景敏 (美術作家)	堀家 敬嗣 (山口大学教育学部助教授)
今井 徹也 (建築家)	三輪 和彦 (美術作家)
金津 洋雄 (山口県教育委員会文化財 保護課長)	森川 紘一郎 (周南市美術博物館長)
小南 英昭 (山口県立大学生生活科学部 助教授)	横山 眞佐子 (児童書専門店「(株)子供の 広場」代表取締役)
濱本 聡 (下関市立美術館館長補佐)	吉野 道久 (山口県環境生活部文化振興 課長)
原田 文明 (美術作家)	

2005-2006

特別展

schedule

山口県立美術館 平成17年度年間スケジュール

常設展

4
5
6
7
8
9
10
11
12
1
2
3

4/12~5/22

興福寺国宝展

鎌倉復興期のみほとけ

5/23~2006/3

休館
(空調設備改修工事のため)

9/22~10/12
第9回やまぐち県民文化祭
第59回山口県美術展覧会
会場:下関市立美術館

5/22

5/23~2006/3

休館
(空調設備改修工事のため)

追悼 松田正平 萩の茶陶 植木茂

4/10

4/12

興福寺国宝展特別展示

「萩の茶陶」

「秘仏公開

—山陽小野田市 岩崎寺・正法寺の仏像—

Information

■当館は空調設備改修工事のため、
2006年3月末日まで休館中です。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art
〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

